

全国を対象とした自治会や福祉関係者との連携による空家予防推進の
担い手育成アドバイザー支援事業（太宰府市空家予防推進協議会）

課題	全国的に高齢化が進行する中で、空家となる可能性の高い住まい＝空家予備群が多く存在する状況にあり、今後も空家が増える可能性が高いため、早い段階から、住まいの方向性を地域レベルで考えることが強いては、自己の所有する住まい(不動産)について考えることになることから、その取り組みを発展・検討していくこと。
目的	これまでの「自治会や福祉関係者等と連携した空家予防推進に関する取組」の実績を活かし、協議会がアドバイザーとなり、担い手の育成に関する体制づくりや手法等を伝えながら、全国規模での空家等の発生抑制の課題解決につなげることを目的とする。更に、太宰府市での取組も継続し、今年度で3年目を迎えることから、住まいの問題や課題に対し、自ら行動できる人材が主体となって自治会単位で空家予防推進に向けた取り組みを実践できるよう支援を行う。
取組内容	【福岡都市圏を中心に全国を対象とした取り組み】 ●自治会や福祉関係者と連携した空家予防推進に関する担い手育成のアドバイザー支援 ●自治会や福祉関係者と連携した空家予防推進に関するアンケート調査 ●担い手育成(各種相談対応も含む)のオンラインサロンの開催 ●他地域との横展開を見据えた連携体制構築 【太宰府市を対象とした取り組み】 ●自治会を中心に福祉関係者と連携した空家の見守りの実践による調査・検証 ●住まいを空家にしないための相談会・セミナーの開催 ●太宰府市内を対象とした空家サミットの開催 ●相談窓口の継続的な運営と住まいの方向性について助言を行う
成果	1. 空家予防推進に向けた担い手育成に関する指針 2. オンラインサロンのメニュー、テキスト作成 3. オンライン相談等の相談記録 4. アンケート結果 5. 各種講演記録

